MITSUBISHI ELECTRIC

三菱電機
設備用パッケージエアコン
別売部品
蒸気スプレー式加湿器

形名

PAC-CB23SS

取付説明書（販売店･工事店様用）

もくじ　ページ

安全のために必ず守ること……3
1. 使用部品……7
2. 使用箇所（取付作業の概要）……9
3. 取付作業……10
4. 電気工事……14
5. 取付作業後の確認……17
6. 試運転……18
7. お客様への説明……19

この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい取付作業が必要です。取付作業の前に、この説明書を必ずお読みください。
取付作業完了後、お使いになる方に必ずこの説明書をお渡しください。
なお、以下の項目はお客様向け特記事項です。

- ご使用の前に、この説明書に記載の「お客様への説明」をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
- 「取付説明書」は大切に保管してください。
- ユニットに添付の別紙「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」は大切に保管してください。
- お客様ご自身では、取付けないでください。（安全や機能の確保ができません。）
- この製品は、日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。またアフターサービスもできません。
  This appliance is designed for use in Japan only and the contents in this document cannot be applied in any other country. No servicing is available outside of Japan.

WT11223X01

もくじ

安全のために必ず守ること 3

1. 使用部品 7
1-1. 同梱部品 7
1-2. 一般市販部品 8
1-3. 製品の外形 8

2. 使用箇所（取付作業の概要） 9
2-1. 使用部品の取付位置 9

3. 取付作業 10
3-1. 取付前の準備 10
3-2. 蒸気スプレー本体の組立 11
3-3. 取付方法 12
3-3-1. 製品本体への取付け 12

4. 電気工事 14
4-1. 配線要領 14
4-1-1. リレーの取付け 14
4-1-2. 配線接続 15
4-2. 制御箱カバー、前下パネルの取付け 16

5. 取付作業後の確認 17
5-1. 取付作業のチェックリスト 17

6. 試運転 18
6-1. 試運転の方法 18
6-1-1. 試運転の準備 18
6-1-2. 運転 18
6-2. 試運転中の確認事項 18

7. お客様への説明 19
7-1. お客様向け特記事項 19
7-2. 説明事項 19

安全のために必ず守ること

- この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、取り付けてください。
- ここに記載した注意事項は、安全に関する重要な内容です。必ずお守りください。

⚠ 警告	取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うおそれのあるもの
⚠ 注意	取扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負う、または物的損害が発生するおそれのあるもの

- 図記号の意味は次のとおりです。



- お読みになったあとは、お使いになる方に必ず本書をお渡しください。
- お使いになる方は、本書をいつでも見られるところに大切に保管してください。移設・修理の場合、工事をされる方にお渡しください。また、お使いになる方が代わる場合、新しくお使いになる方にお渡しください。

⚠ 警告

電気配線工事は、法令に基づく資格のある電気工事業者に依頼し、「第一種電気工事士」の資格を有する者が行う。（第二種電気工事士は電気工事士法で認められた範囲のみ対応可）

一般事項

⚠ 警告

改造はしない。

- 改造すると、冷媒漏れ・水漏れ・けが・感電・火災の原因になります。

禁止

運転中および運転停止直後は、以下の部品に素手で触れない。

- **本品・ベーパーパン本体・ヒータ本体・スプレー本体**
- **冷媒配管・冷媒回路部品**

- 低温または高温になるため、素手で触れると凍傷・火傷の原因になります。

接触禁止

電気部品に水をかけない。

- 水がかかった状態で使用すると、ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災の原因になります。

水ぬれ禁止

ぬれた手で電気部品に触れたり、スイッチ・ボタンを操作したりしない。

- 感電・故障・発煙・発火・火災の原因になります。
- ぬれた手を拭いてから、作業してください。

ぬれ手禁止

掃除・整備・点検をするときは、運転を停止して、すべての関連ユニットの主電源を切る。

- 運転中や主電源が入った状態で作業すると、けが・感電の原因になります。

指示を実行

異常時（こげ臭いなど）は、運転を停止して電源スイッチを切る。

- 異常のまま運転を続けると、感電・故障・火災の原因になります。
- お買上げの販売店・お客様相談窓口に連絡してください。

指示を実行

端子箱・制御箱のカバーまたはパネルを取り付ける。

- ほこり・水が入ると、感電・発煙・発火・火災の原因になります。



⚠注意

パネルやガードを外したまま運転しない。

- 回転機器に触れると、巻込まれてけがの原因になります。
- 高温部に触れると、火傷の原因になります。
- 高電圧部に触れると、感電の原因になります。



運転停止後、すぐにユニットの電源を切らない。

- ユニットが故障し、水漏れにより家財がぬれる原因になります。
- 運転停止から 5 分以上待ってください。



冷房運転時に加湿器を使用しない。

- 水回路凍結により、ユニット損傷の原因になります。
- 水漏れにより、家財がぬれる原因になります。



水回路の温度が0℃以下になるところに加湿器を設置しない。

- 水回路凍結によりユニット損傷の原因になります。
- 水漏れにより、家財がぬれる原因になります。



部品端面や熱交換器のフィン表面に素手で触れない。

- けがの原因になります。



作業する場合は保護具を身に付ける。

- けがの原因になります。



運搬・取付作業をするときに

⚠注意

20kg 以上の製品は、1 人で運搬しない。

- 1 人作業はけがの原因になります。
- 2 人以上で作業してください。



取付作業をするときに

⚠警告

梱包材は廃棄する。

- けがの原因になります。



袋状の梱包材は破棄する。

- 窒息事故の原因になります。



三菱電機指定の部品を使用し、取付けは販売店または専門業者に依頼する。

- 不備があると、水漏れ・感電・火災の原因になります。



販売店または専門業者が当社指定の別売品を取り付ける。

- 不備があると、水漏れ・けが・感電・火災の原因になります。



販売店または専門業者が取付説明書に従って取付作業を行う。

- 取付に不備があると、水漏れ・けが・感電・故障・火災の原因になります。



配管工事をするときに

⚠ 警告

現地配管を部品端面に接触させない。

- 配管が損傷し、蒸気・温水が漏れ、火傷、水漏れの原因になります。



⚠ 注意

配管を断熱する。

- 結露により、天井・床がぬれる原因になります。



コーキングをする。

- 不備があると、床がぬれる原因になります。



電気工事をするときに

⚠ 警告

電源用端子台に、単線とより線や、異なったサイズの配線を併用しない。

- 併用すると、ねじ緩み・接触不良により、発煙・発火・火災の原因になります。



配線を冷媒配管・部品端面に接触させない。

- 配線が接触すると、漏電・断線・発煙・発火・火災の原因になります。



配線に外力や張力が伝わらないようにする。

- 配線が発熱・断線し、発煙・発火・火災の原因になります。



端子接続部に配線の外力や張力が伝わらないように固定する。

- 配線接続部の接触不良・発熱・断線により、発煙・発火・火災の原因になります。



配線端子のねじは規定のトルクで締める。

- ねじ緩み・接触不良により、発煙・発火・火災の原因になります。



電気工事をする前に、主電源を切る。

- けが・感電の原因になります。



電気工事は、第一種電気工事士の資格所持者が以下に従って行う。

- **電気設備に関する技術基準**
- **内線規程**
- **取付説明書**

- 施工不備があると、感電・故障・発煙・発火・火災の原因になります。



電気配線には所定の配線を用い、専用回路を使用する。

- 電源回路容量不足や施工不備があると、感電・故障・発煙・発火・火災の原因になります。



電源配線には、電流容量などに適合した規格品の配線を使用する。

- 不適合の配線を使用すると、漏電・発熱・発煙・発火・火災の原因になります。


指示を実行

移設・修理をするときに

⚠ 警告

改造はしない。

- 改造すると、冷媒漏れ・水漏れ・けが・感電・火災の原因になります。
- 移設・分解・修理は販売店または専門業者に依頼してください。


禁止

基板に手・工具で触れたり、ほこりを付着させたりしない。

- ショート・感電・故障・火災の原因になります。


接触禁止

修理をした場合、部品を元どおり取り付ける。

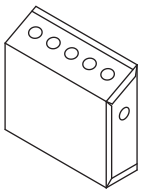
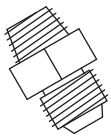
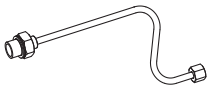
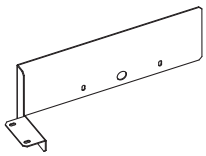
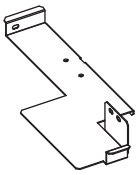
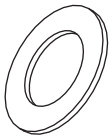
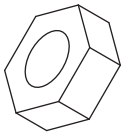
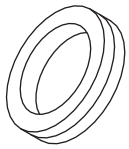
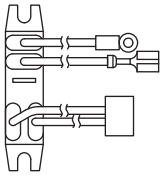
- 不備があると、けが・感電・火災の原因になります。


指示を実行

1. 使用部品

1-1. 同梱部品

本製品には下記部品が同梱されていますので取付前に確認してください。

No.	D-1	D-2	D-3	D-4
品名	スプレー本体	ツギテ	ツナギ管	取付板 1
形状				
個数	1	1	1	1
No.	D-5	D-6	D-7	D-8
品名	取付板 2	パッキン	ナット	ゴムブッシュ
形状				
個数	1	2	1	1
No.	D-9	D-10	D-11	D-12
品名	リレー	ねじ	ねじ	ねじ
形状		 サイズ：4 × 10	 サイズ：3.5 × 8	 サイズ：5 × 10
個数	1	5(予備3)	3(予備1)	4(予備1)

1-2. 一般市販部品

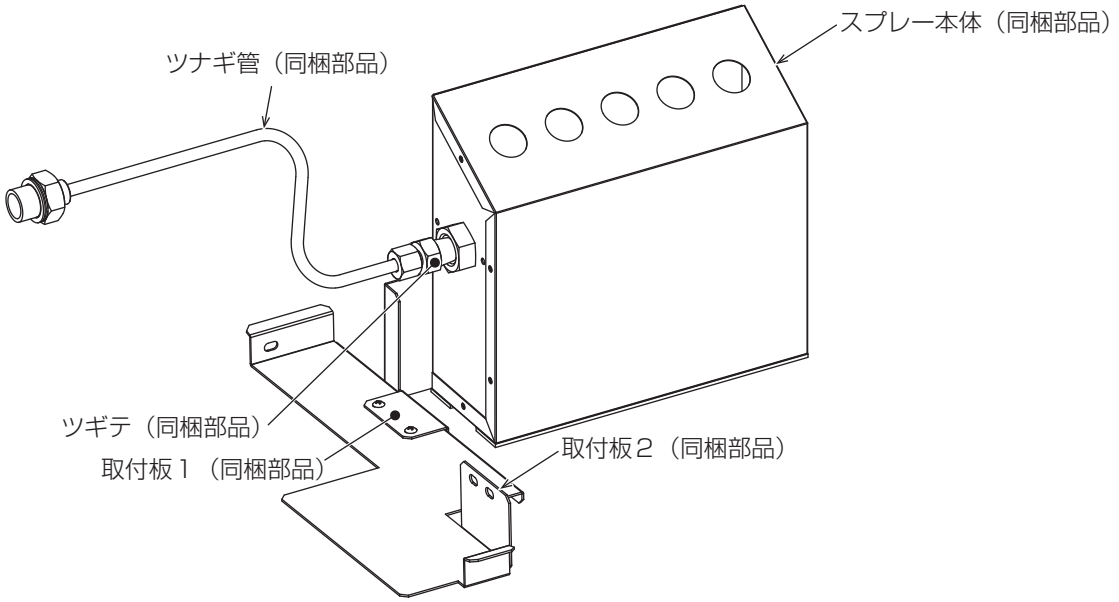
No.	品名	数量
S-1	ストップバルブ	1
S-2	電磁弁（または塞止弁）	1
S-3	湿度調節器（23HS）	1
S-4	シールテープ	相当量

※ 電磁弁の口径は下表より選定してください。

馬力	電磁弁口径
8 馬力	φ7

※ ストップバルブの口径は、現地の配管径にあわせて選定してください。

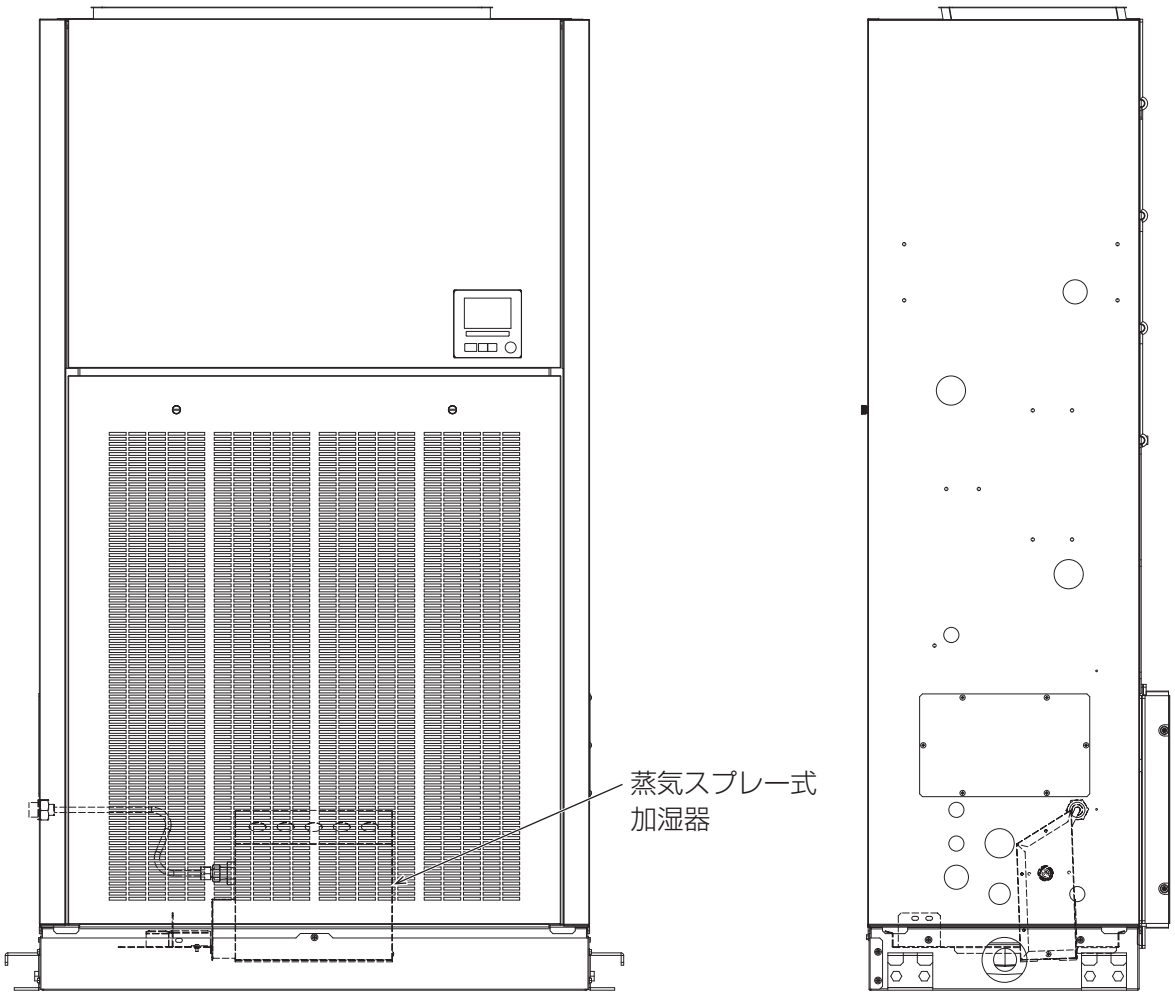
1-3. 製品の外形



・ 同梱部品の詳細は指定のページを参照してください。「同梱部品 (7 ページ)」

2. 使用箇所（取付作業の概要）

2-1. 使用部品の取付位置



3. 取付作業

⚠ 警 告

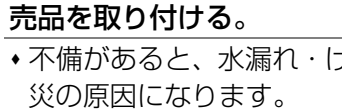
梱包材は廃棄する。

- けがの原因になります。



販売店または専門業者が当社指定の別売品を取り付ける。

- 不備があると、水漏れ・けが・感電・火災の原因になります。



袋状の梱包材は破棄する。

- 窒息事故の原因になります。



- 本製品は出荷時左配管取出しとなっています。

お願い

- 取付作業をする前に以下に示す梱包材を取り外してください。
- 製品、配線を包装しているポリ袋
- 養生テープなど
- 段ボールなどの紙製の緩衝材、スペーサー
- 発泡スチロールなどの樹脂系の緩衝材、スペーサー
- 取付・点検・修理をする場合、適切な工具を使用してください。
  工具が適切でない場合、機器損傷の原因になります。

3-1. 取付前の準備

取付作業を行う前に以下の工具を準備してください。

- ドライバー（+）
- スパナ
- トルクドライバー
- 保護具
- ハンマー
- 貫通マイナスドライバー
- カッター

3-2. 蒸気スプレー本体の組立

お願い

- ストップバルブ（一般市販部品）、電磁弁（または塞止弁）（一般市販部品）を設けてください。
  また、必要以上に加湿しないように湿度調節器（23HS）（一般市販部品）を使用し、適切な湿度に設定してください。
- 蒸気圧力は、0.02 ～ 0.12MPa の範囲としてください。

一般市販部品の詳細は指定のページを参照してください。「一般市販部品 (8 ページ)」

左配管取出しの場合

手 順

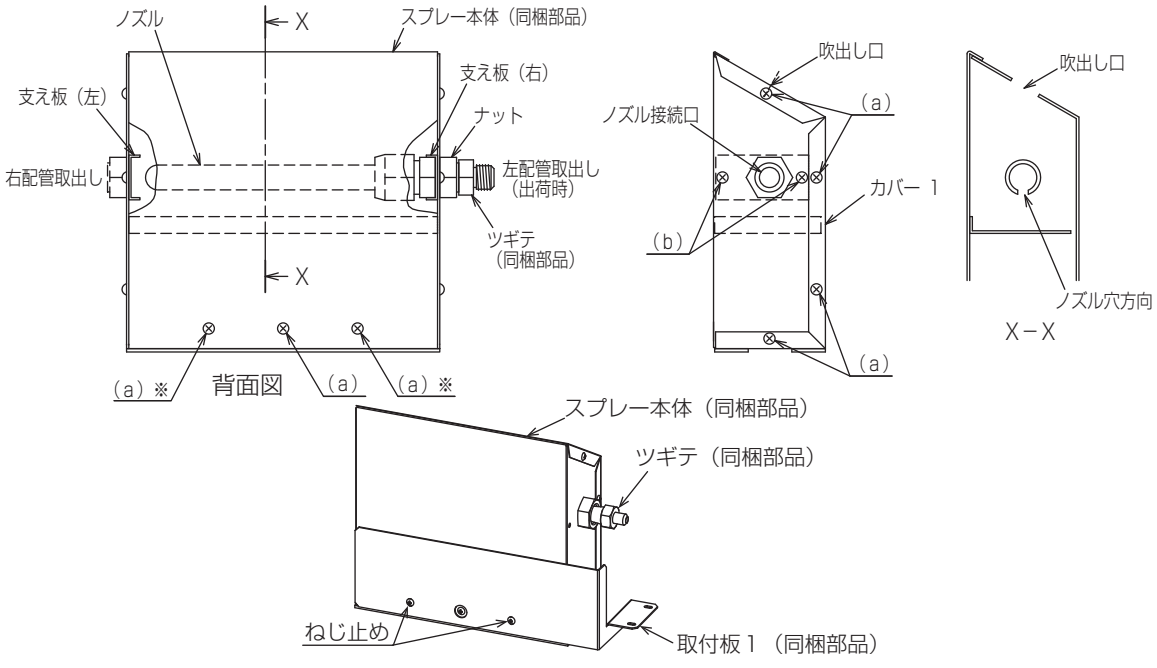
1. スプレー本体（同梱部品）の（ａ）部ねじ（１１本）を外してカバー１を取り外し、ノズル穴が下向き（断面 X－ X）になっていることを確認する。
   確認後はカバー 1 を元どおり取り付けてください。
2. ノズル接続口にツギテ（同梱部品）を取り付ける。
3. 取付板 1（同梱部品）をスプレー本体（同梱部品）に取り付ける。（ねじ２本：カバー１を固定している（ａ）※ 部ねじで共締め）

右配管取出しの場合

下記手順に従ってノズル接続口を左側に向けてください。

手 順

1. カバー１を取り外す。（ねじ１１本（ａ）部）
2. ノズル接続口のナットをスパナなどで外し、ノズルを取り外す。
3. 支え板（左・右）を取り外し、左右逆に取り付ける。（ねじ各２本（ｂ）部）
4. ノズルを接続口が背面から見て左側に向くように取り付け、ナットで固定する。
   ・ノズル穴方向が下向き（断面 X － X）になるように取り付けてください。
5. カバー１を元どおり取り付ける。
6. ノズル接続口にツギテ（同梱部品）を取り付ける。
7. 取付板 1（同梱部品）をスプレー本体（同梱部品）に取り付ける。（ねじ２本：カバー１を固定している（ａ）※ 部ねじで共締め）



- 同梱部品の詳細は指定のページを参照してください。「同梱部品 (7 ページ)」

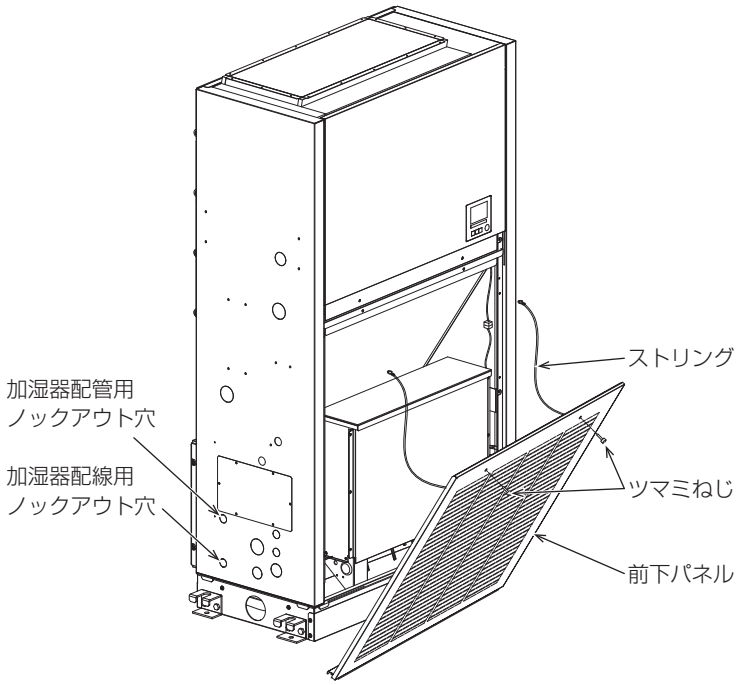
3-3. 取付方法

取付場所に取り付けられる状態になりましたら、取付作業を行ってください。

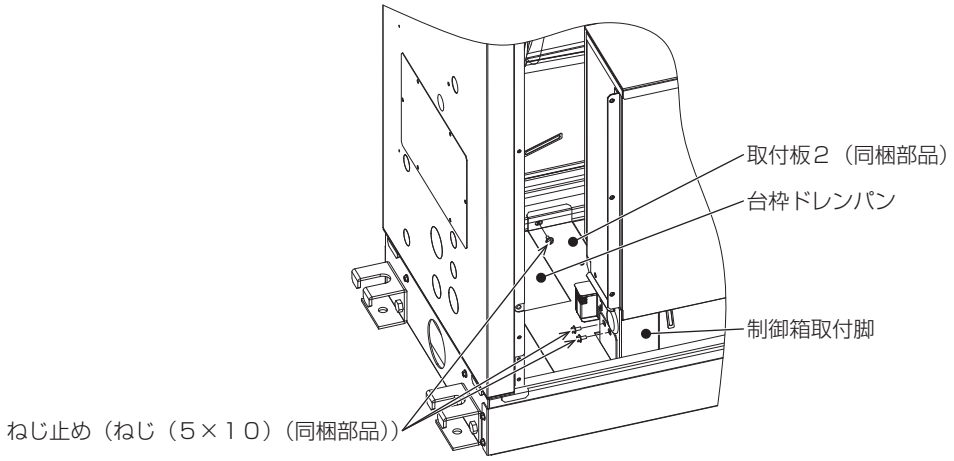
3-3-1. 製品本体への取付け

手 順

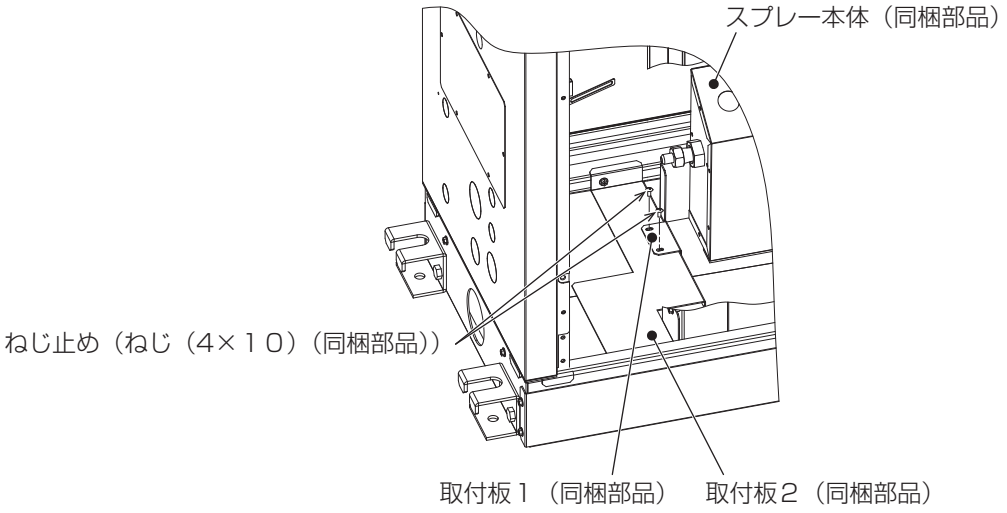
1. 製品本体と前下パネルに取り付いているストリング（左右2本）のフックを取り外した後、前下パネルを製品本体から取り外す。
2. 配管の取出し方向を確認し、製品本体サイドパネルの加湿器配管用ノックアウト穴を打ち抜く。
   ・打ち抜く際はパネル内側の断熱材の切残し部をカッターで切り離し、断熱材が破損しないように打ち抜いてください。



3. 取付板２（同梱部品）をねじ（5×10）（同梱部品）を使用して台枠ドレンパンと制御箱取付脚に取り付ける。（3 か所）
   ・ドレン配管の接続方向を出荷時から変更する場合は、本体据付工事説明書に従い、ドレンパンを先に入れ替えてから蒸気スプレー式加湿器を取り付けてください。



4. 組み立てたスプレー本体（同梱部品）を台枠ドレンパンの上に置き、取付板２（同梱部品）にねじ（4×10）（同梱部品）を使用して取り付ける。



5. ツナギ管（同梱部品）をスプレー本体接続口と手順 **2.** で打ち抜いた加湿器配管用穴に合わせて取り付ける。

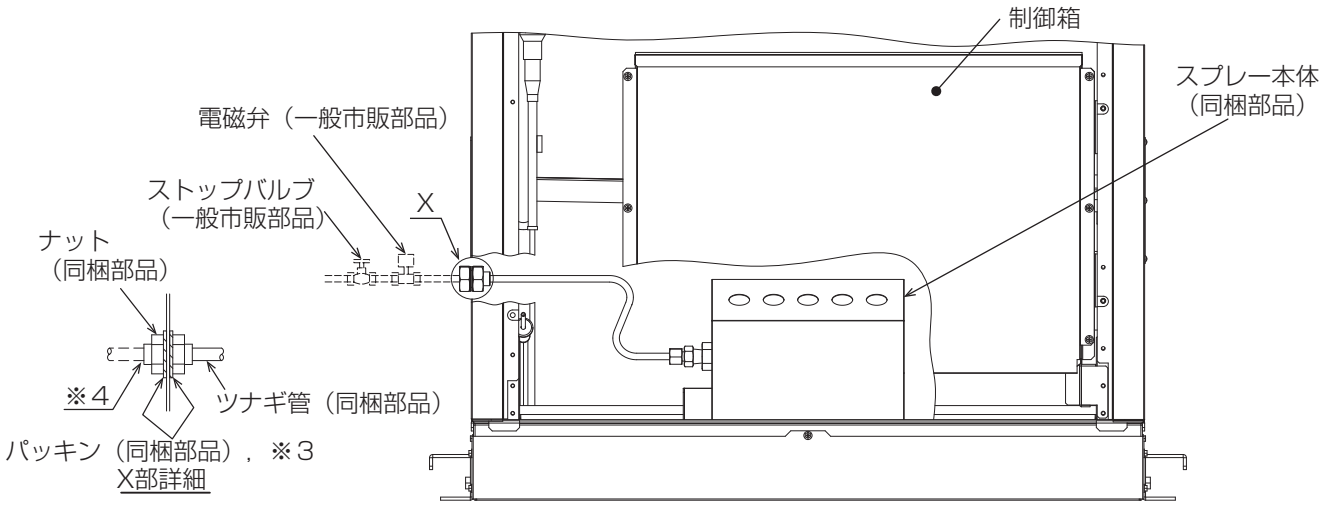
※1 下図は左配管取出しの場合を示しています。

※2 各部の締付けはダブルスパナで行ってください。

※3 先に加湿器配管用穴の締付けを行ってからスプレー本体接続口の締付けを行ってください。

※4 加湿器配管用穴の締付け部にはパネルへの伝熱防止のため、パッキン（同梱部品）をはさんで締め付けてください。

※5 ツギテ（同梱部品）および現地配管接続部の ＰＴ ねじ部にはシールテープ（一般市販部品）などのシール材を使用してください。



- 同梱部品の詳細は指定のページを参照してください。「同梱部品 (7 ページ)」
- 一般市販部品の詳細は指定のページを参照してください。「一般市販部品 (8 ページ)」

4. 電気工事

⚠ 警告

電源用端子台に、単線とより線や、異なったサイズの配線を併用しない。

- 併用すると、ねじ緩み・接触不良により、発煙・発火・火災の原因になります。

禁止

配線に外力や張力が伝わらないようにする。

- 配線が発熱・断線し、発煙・発火・火災の原因になります。

指示を実行

端子接続部に配線の外力や張力が伝わらないように固定する。

- 配線接続部の接触不良・発熱・断線により、発煙・発火・火災の原因になります。

指示を実行

配線端子のねじは規定のトルクで締める。

- ねじ緩み・接触不良により、発煙・発火・火災の原因になります。

指示を実行

電気工事は、第一種電気工事士の資格所持者が以下に従って行う。

- **電気設備に関する技術基準**
- **内線規程**
- **取付説明書**

- 施工不備があると、感電・故障・発煙・発火・火災の原因になります。

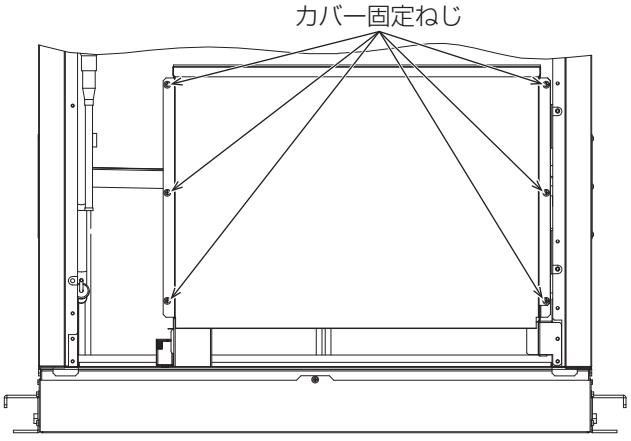
指示を実行

4-1. 配線要領

4-1-1. リレーの取付け

手 順

1. 制御箱カバーを取り外す。
2. リレー（同梱部品）をねじ（3.5×8）（同梱部品）で取り付ける。（ねじ2本）

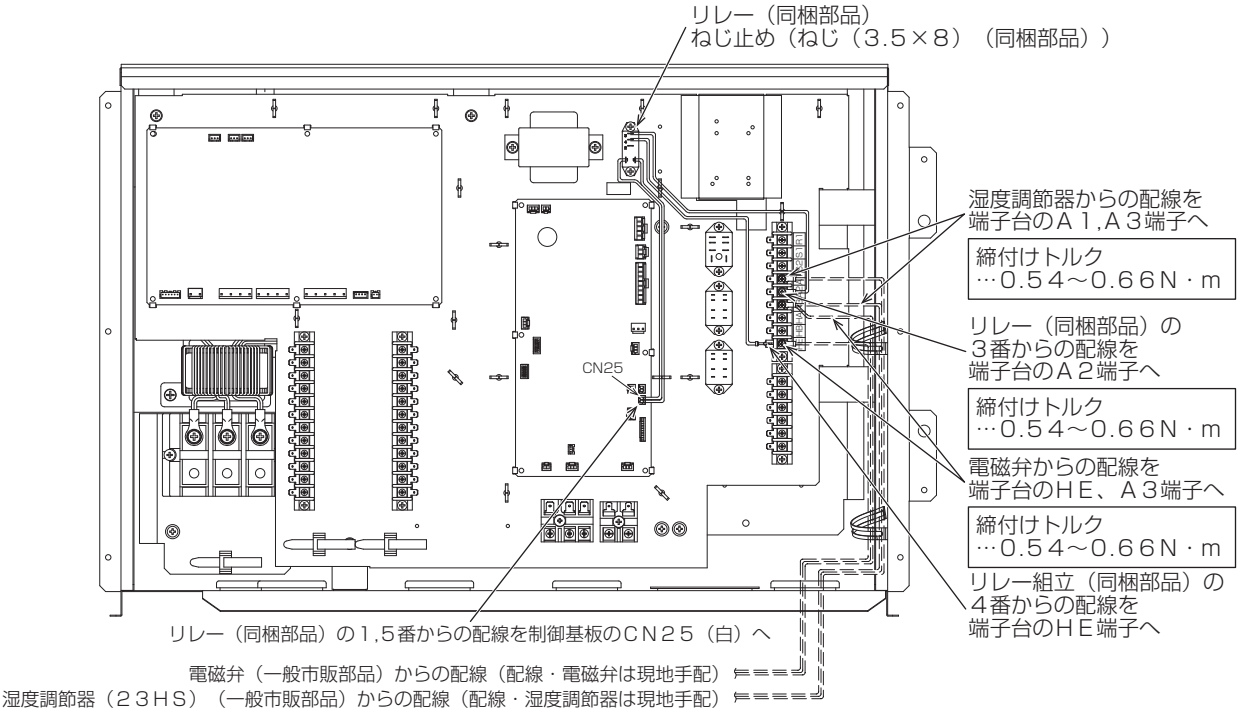


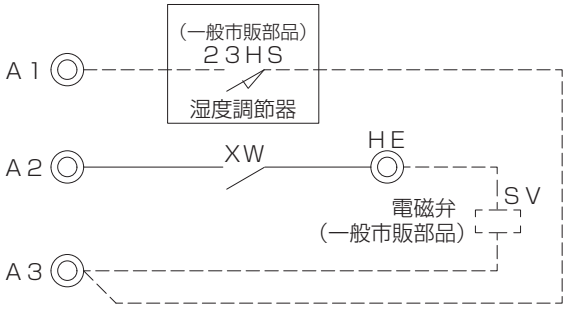
・ 同梱部品の詳細は指定のページを参照してください。「同梱部品 (7 ページ)」

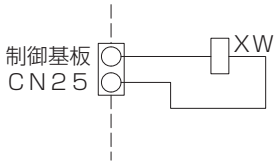
4-1-2. 配線接続

手 順

1. 配線の取出し方向を確認し、製品本体サイドパネルの加湿器配線用ノックアウト穴を打ち抜く。
   - 打ち抜く際はパネル内側の断熱材の切残し部をカッターで切り離し、断熱材が破損しないように打ち抜いてください。
2. 打ち抜いた配線穴にゴムブッシュ（同梱部品）を取り付け、電磁弁（一般市販部品），湿度調節器（23HS）（一般市販部品）からの配線を配線穴に通し、制御箱内へ導く。
3. リレー（同梱部品），電磁弁（一般市販部品），湿度調節器（23HS）（一般市販部品）からの配線を図に従って接続する。
   - 湿度調節器（23HS）（一般市販部品）を使用しない場合は、端子台の A1 と A3 を短絡してください。（配線は現地手配）
     ただし、その場合は必要以上に加湿されることがあります。
4. サーモ OFF 時（暖房）に加湿器を ON させる場合は室内基板の SW1-6 を OFF → ON にし、リモコンの機能設定 No.25 の設定値を "3" にする。
   - サーモ OFF 時にも加湿器を ON する設定で使用した場合、周囲条件によっては、加湿器からの蒸気が結露し、機外に露が飛び出る場合があります。使用する際は、気を付けてください。







- 同梱部品の詳細は指定のページを参照してください。「同梱部品 (7 ページ)」
- 一般市販部品の詳細は指定のページを参照してください。「一般市販部品 (8 ページ)」

4-2. 制御箱カバー、前下パネルの取付け

すべての作業が完了しましたら、下記の要領で取り外した部品を元どおり取り付けてください。

手 順

1. 制御箱カバーを元どおり取り付ける。
2. 前下パネルを元どおり取り付ける。

5. 取付作業後の確認

取付作業が完了しましたら、下表に従ってもう一度点検してください。
不具合がありましたら必ず直してください。（機能が発揮できないばかりか、安全性が確保できません。）

5-1. 取付作業のチェックリスト

確認項目		確認結果
取付け	部品の取付け忘れはありませんか	
	ねじに緩み、締め忘れはありませんか	
電気工事	端子部などのねじに緩み、締め忘れはありませんか	
	配線が配管や部品端部に接触していませんか	
その他	「安全のために必ず守ること」を確認しましたか	

6. 試運転

⚠ 警告

運転中および運転停止直後は、以下の部品に素手で触れない。
- **本品・ベーパーパン本体・ヒータ本体・スプレー本体**
- **冷媒配管・冷媒回路部品**

- 低温または高温になるため、素手で触れると凍傷・火傷の原因になります。



⚠ 注意

パネルやガードを外したまま運転しない。
- 回転機器に触れると、巻込まれてけがの原因になります。
- 高温部に触れると、火傷の原因になります。
- 高電圧部に触れると、感電の原因になります。



運転停止後、すぐにユニットの電源を切らない。
- ユニットが故障し、水漏れにより家財がぬれる原因になります。
- 運転停止から 5 分以上待ってください。



お客様立会いで試運転を行ってください。

6-1. 試運転の方法

6-1-1. 試運転の準備

蒸気スプレー式加湿器の試運転に先立ち、設備用パッケージエアコンの試運転を完了させてください。
ストップバルブの栓を開いて、加湿器へ給水してください。

6-1-2. 運転

手 順

1. 設備用パッケージエアコンの電源を投入する。
2. 設備用パッケージエアコンを暖房運転する。
3. 蒸気スプレー式加湿器を運転する。

6-2. 試運転中の確認事項

ノズルからの噴霧状態、各配管接続部からの蒸気・水漏れの有無を確認してください。

7. お客様への説明

7-1. お客様向け特記事項

- この取付説明書に従って、お使いになる方に正しい使い方をご説明ください。とくに「安全のために必ず守ること」の項は、安全に関する重要な注意事項を記載していますので、必ず守るようにご説明ください。
- お使いになる方が不在の場合は、オーナー様、ゼネコン関係者様や建物の管理者様にご説明ください。
- この取付説明書および保証書は、取付け後、お使いになる方にお渡しください。
- お使いになる方が代わる場合、この取付工事説明書および保証書を新しくお使いになる方にお渡しください。

7-2. 説明事項

⚠注意

冷房運転時に加湿器を使用しない。

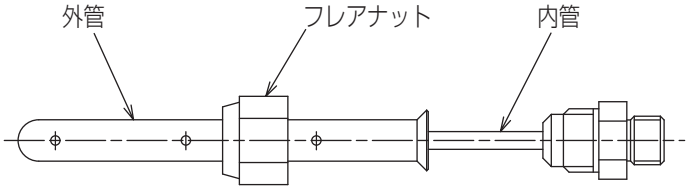
- 水回路凍結により、ユニット損傷の原因になります。
- 水漏れにより、家財がぬれる原因になります。



1) 冷房運転での加湿はできません。

2) 運転中は定期的にノズルからの噴霧状態、各配管接続部からの蒸気・水漏れ有無などを点検してください。

3) 噴霧不良およびシーズンインや長期休止時には、蒸気スプレー内を点検し、汚れがひどい場合には分解し、掃除してください。
分解要領は、指定のページを参照してください。「蒸気スプレー本体の組立 (11 ページ)」
ノズル部は下図の要領で分解し、内・外管のノズル穴を細い針などで掃除してください。



4) 夜間などユニット停止時に凍結する可能性のある場合や、外気の影響で凍結する可能性があるオールフレッシュ形に蒸気スプレーを組み込む場合は、適切な凍結防止処置を実施してください。

5) 水質や使用条件によってはユニット内部の金属製部品が錆びることがありますので、加湿シーズン前後に確認し、錆がある場合は除錆剤や研磨などで錆を除去してください。
除錆剤をご使用される場合は、除錆剤に記載の使用説明に従ってください。
また錆除去後は塗装などの防錆処理を施してください。

6) 製品本体後背面の吸込み・サービススペースは技術資料を参照してください。

ご不明な点や修理に関しては、お買上げの販売店（工事店・サービス店）か
「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」（ユニットに添付の別紙）に記載の
連絡先にご相談ください。

三菱電機株式会社

冷熱システム製作所　〒640-8686　和歌山市手平6-5-66

2026 年 7 月作成
WT11223X01